

(3)-1 桑名の地質図・地質柱状図・地質断面図から考えよう。

( )年( )組( )席・名前( )

1 市之原層は、粘土・シルトの地層と、砂・れきの地層が交互に堆積しています。

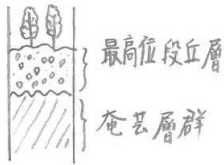
①粘土・シルトが堆積したとき、水の流れはどのよう  
 になっていたと考えられますか。 ( )

②砂・れきが堆積したとき、水の流れはどのようにな  
 っていたと考えられますか。 ( )

2 暮明層と大泉層には軽石火山灰層があります。 ( )  
 これは何を意味していますか。 ( )

3 プリント「桑名の地層と地史」にある桑名丘陵地地質柱状図から、市之原層、暮明層、大泉層、最高位  
 段丘層の堆積した順番を考えなさい。  
 ( ) → ( ) → ( ) → ( )

4 最高位段丘層は奄芸層群の上に不整合で堆積しています。これは何を意味していますか。次の( )  
 の中に適当な言葉を入れて考えなさい。



(a )が堆積した後、土地が(b )したために(a )が  
 浸食を受けた。その後(c )が堆積した。

5 最高位段丘、高位段丘、中位段丘のできた順序を考えなさい。また、段丘が3つあるということは、何を  
 意味していますか。

6 桑名丘陵地地質断面図(A-B)からわかる大地の変  
 化を答えなさい。 ( )

7 桑名背斜は、その曲がり方から、どちらの方向からど  
 んな力を受けてできたと考えられますか。 ( )

8 桑名丘陵地地質断面図(C-D)からわかる大地の  
 変化を答えなさい。 ( )

9 下は桑名の地層と地史について表しています。( )の中に適切な言葉を選びなさい。

東海湖、鈴鹿、高位段丘層、中位段丘層、しゅう曲、断層

290年前

100万年前

市之原層→暮明層→大泉層→( a )→不整合→最高位段丘層→( c )→

( b )の湖底 地上 ( e )山系からのれきが  
 堆積する

→( d )→沖積層

↓

( f )